

チャレンジ工房News

第 10 号

平成 24 年 1 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

年頭のご挨拶

謹んで新年のお慶び申し上げます。

昨年の 2011 年は、東北大震災・東電の福島原子力発電所の事故と現在社会で生きる私たちにとって、改めて家族の在り方や電力に頼りばなしの生活の在り方、更には、今後発生されると予測されている東海・南海沖地震に備えての防災・避難計画の在り方などと色々考えさせられた忘れがたい 1 年になりました。

当工房にとっても、昨年は多くの方々に支えて頂き、新築の貸倉庫をスタッフや所員の思いで事務所として改装し、4 月にオープンし、所員を迎え入れ、木のいい香りがする机の上で所員・スタッフとともに新たな気持ちでパソコン研修や仕事に取り組むなどの思い出、深い年でもありました。

昨年は、開所したばかりで、私自身も日々の工房の運營業務に追われて一般就労支援・工房内就労・パソコン学習支援の 3 事業を柱に置きながら、一般就労支援・工房内就労支援についてはあまり手づかずでした。

1 月の予定

1/23(月) 新年会
11:00 ~ 15:00
参加費 800 円(軽食・飲み物代)

百人一首や羽つきなどの昔ながらの遊びを楽しむ予定です。



開所 2 年目にあたる本年は、パソコン検定・画像処理・ホームページなどの更なるパソコン研修の充実やチラシ・葉書印刷やホームページ作成などの工房内就労に取組み、少しずつでも所員のパソコンでのスキルアップや工賃アップにつないでいくことができればと思っています。

本年もご支援・ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

所長 曲 圭子



工房の日々 ～ 年賀状作成 ～

12 月中旬から年末にかけて、数名の所員さんが Word の腕試しがてら Word や市販の年賀状テンプレート集を使って、思い思いのデザインで年賀状を作成されました。

年賀状を作成した所員さんは、去年の春から工房に通い出して本格的にパソコンを始められた方がほとんどで、Word のハガキ文面ウィザードやテンプレート集を使いながら好みの年賀状のデザインにするのに苦労されたり、宛名ウィザードで宛名を印刷するための住所録作成にかなり苦労されていましたが、「年賀状を自分の力でパソコンで作ること」を一つの目標にしていた所員さんもいたので完成したときは、達成感で溢れかえっていました。

中には、「入力の練習になるから」と 100 件ほどの宛名データをコツコツと入力されて年末までかかって両面とも、工房で研修してきた Word でつくられた所員さんもいました。

工房近くの商店から年賀状の注文を貰ったり、先月中旬頃より随時、開催してた[年賀状作成講座]にも何名かの地域の方も参加して下さいました。

来年度以降の工房内就労につなげるため試行的に実施したので、今回は所員の工賃を得るまでにはいかず、印刷も昨年の暮れに購入したレーザープリンターで印刷したので、まだスタッフ自身も使いこなせていなく、紙詰まりや用紙設定などで印刷ミスが何枚もあり、新しい年賀状を買い直して印刷するなどの苦労もありました。

クリスマス会をしました・・・

12月26日に忘年会も兼ねたクリスマス会をしました。

1日遅れのクリスマス会でしたが、私たちパソコン工房のクリスマス会を飾ってくれているみたいに、雪が降っていて、ホワイトクリスマスっぽい雰囲気の中で行うことができました。



今回のクリスマス会は、再来年に播磨特別支援学校の高等部を卒業する生徒さんとその保護者の方も 当工房の見学も兼ねて参加してくれたこともあり、13名の参加がありました。

私も少しでもクリスマス会らしい雰囲気にしたり、参加している所員さんに楽しんでもらいたいという思いで、サプライズでセンターの衣装を身にまとい参加しました。

クリスマス会の2週間ぐらい前から数名の女性の所員さんが準備してくれたお菓子や飲み物を囲みながら、スタッフの佐々木さんにカラオケ機材をお借りしてカラオケ大会をしました。

嵐や EXILE から細川たかしの曲までの色んな世代の曲やジャングルの曲が飛び交い、熱唱する人もいれば、曲に合わせて振り付けや「武庫川のパソコン工房・・・♪」と歌詞の一部をアレンジして見ていた私たちまで楽しませて貰いました。

最後にスタッフを含め、4月に工房が開所してからの感想等を一言ずつ話しました。

工房が開所してから、10ヶ月足らずになりますが、日を重ねる度に所員さん同士、気の知れた仲になりつつなり、今ではイベント時の買い出しなど所員さん同士で行って貰えるようになりました。

徐々にイベントの企画や用意から所員さんに入って貰い、所員主体の楽しいイベントを今年も月に一度のペースで企画していきたいと考えています。



宮城の障害者作業所の物品販売しています・・・

先月号で掲載したように、当工房の運営主体団体の NPO 法人尼崎障害者センターでは、東北の被災障害者支援の一環として、昨年12月より、宮城県内の数カ所の障害者作業所より、クッキー・工芸品などの作業品を買い上げ、市民の皆様や市内の障害者関連団体の皆様に販売しています。

2011・12・24付 読売新聞

当工房内でも販売し、所員さんや工房関係者の皆様、市民の皆様にご購入して頂いたり、また当販売事業の記事が読売新聞の近畿版・四国版に載り、市外からでも問い合わせがあり、実際新聞に載った「福幸だるま」や「えびかりんとう・のりかりんとう」は、中でも人気があり、宮城より新たに追加で取り寄せたほどでした。

今後も2ヶ月に1度のペースで宮城より、商品を仕入れ1年にわたり、宮城の障害者作業所の物品販売を行いますので、引き続きご協力のほどお願い申し上げます。



福幸だるま

当販売事業サイト
<http://hanbaikakehashi.jimdo.com/>